

1人1台端末を活用した教育の充実

中核校 北見市立三輪小学校 指定校 北見市立西小学校、北見市立光西中学校

実践前の状況

- ・教科等横断的な視点で情報活用能力を育むための教育課程の改善が十分ではなかった。
- ・児童自身がICTを自由な発想で活用するための組織的な取組を推進するまでは至っていなかった。

実践の概要

- 目指す子どもの姿の実現に向けた9年間の教育課程の再点検
- ・中学校区3校が連携し、教科等横断的な視点で情報活用能力を育むための教育課程について見直し、9年間の学びのデザインや情報活用能力育成のための系統表を作成した。
- ・各学校の管理職や各分掌の中心となる教職員が集まる会議を年4回実施し、授業参観や事後の協議を通して、育成を目指す資質・能力の検証と指導計画の更新を随時行った。

情報活用能力育成のための系統表	【習得】一貫型研修「学び方」の習得	【活用】
目指す子どもの姿 (資質・能力の育成)	小1～2 (体験を基礎し習得へ)	小3～
カメラ
キーボード入力
クラスルームマネージャー
Zoom

【情報活用能力育成のための系統表の一部】

- ICTの特性や強みを生かした授業実践の積み上げと普及
- ・多様な情報収集、空間的制約のない交流や連携、相互の情報発信・受信等、ICTの特性や強みとこれまでの実践を効果的に組み合わせた学習活動を学校全体で日常的に行うとともに、北見市教育委員会と連携した研修会や公開研究会等の機会において、実践の成果を管内に広く発信した。



【Web会議システムを活用した意見交換】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔主幹教諭の取組〕

- ・9年間の学びのデザインの作成に当たり、中学校区3校の主幹教諭が連携して教育課程実施上の課題や今後の改善策を整理・分析するとともに、令和5年度小学校・中学校教育課程改善の手引（北海道教育庁学校教育局義務教育課）を活用して、具体的な取組を示した。
- ・ICTの特性や強みを生かした活用の一層の推進に向け、個々の教員が、ICTを効果的に活用した授業実践に係る課題や解決策を見出すことができるよう、学年経営委員会や日常の学年打合せ等において、対話や議論の場を設定した。

〔ICT活用推進員の取組〕

- ・北見市教育委員会や市内の学力向上推進委員会と連携し、ICTの効果的な活用方法を発信する研修の実施及び推進員によるICTの効果的な活用モデルとなる公開授業を通して、ICT環境を最大限に生かす授業改善のためのカリキュラム・マネジメントを進めるとともに、組織的かつ計画的な対応の充実を図った。

成果（ ）と今後の課題（ ）

「9年間の学びのデザイン」を活用した教育課程の再点検により、様々な教育活動がICT機器の活用と連動した改善の充実が図られ、全教職員のベクトルを合わせることができた。

〔教職員学校評価の「学習のねらいの実現に向け、学校が一体となってICT活用を推進することができた」の項目について、肯定的な評価が増加した。(R4:91% R5:96%)〕

組織的・計画的な取組の推進により、児童がICTを適切かつ有効に活用することができた。〔児童アンケートの「学びを深めるために、進んでICTを使うことができた」の項目について、肯定的な評価が増加した。(R4:85% R5:89%)〕

今後は、より一層、児童が学びの過程の中で、目的に合ったICT活用を選択できるような学習環境や指導方法を工夫する必要がある。